

くそ！存在Xめ！
何がしたいんだ！

少佐、別の
方法を探そう

先の指示を
お忘れですか？

指示通りでなければ
開きませんでした

今回だけ別方法で
開くとは思えません

しかし……

はっさ

武器の類は持って
おりませんし
魔法さえ通じないなら
無駄でしょう

万が一の時に大佐殿を
お護り出来るよう
これ以上の魔力消耗も
避けたいです

ただ床でするのは
些か抵抗がありますが……



ベッド？
さつきまでは
何も...

随分都合のいい
部屋のようですね

少佐！



...大佐殿

先程腹を括れと
仰ったのは大佐殿では
ありませんか

.....ッ

.....

さつきと
終わらせましょう

...本当に良いんだな？

ええ、そうでないと
出れませんし



ああ、でもこんな凹凸のない身体なのは申し訳ございません

そんな事を言うもんじゃない

はあ...

こちらを向いても良いですか...?

.....あの.....

?ああ



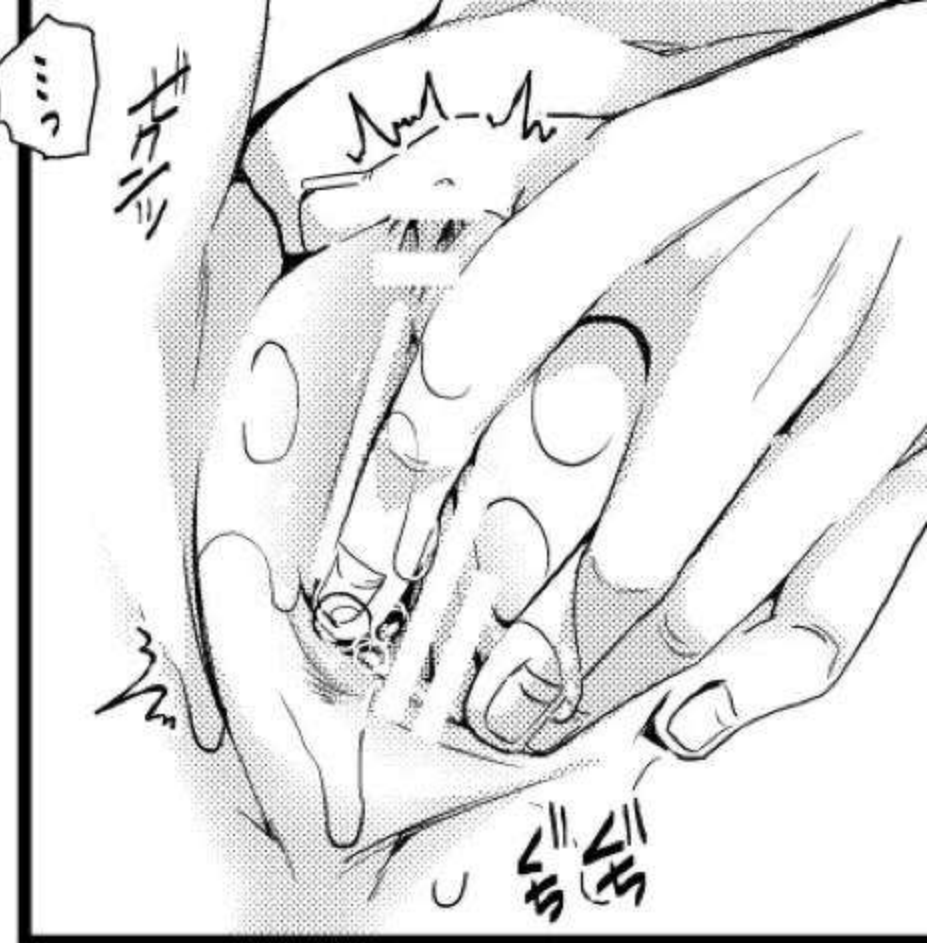




なんだ今のは...!?
胸とは全然違う...っ

...っ...レ...ルゲン...
大佐殿...っ

そこっ...やっ...
ですっ...あっ...



—っ…言…わ…ないで…
…くださいっ

びしょ びしょ

身体はそうは
思っていないようだ
指が入る程
濡れた



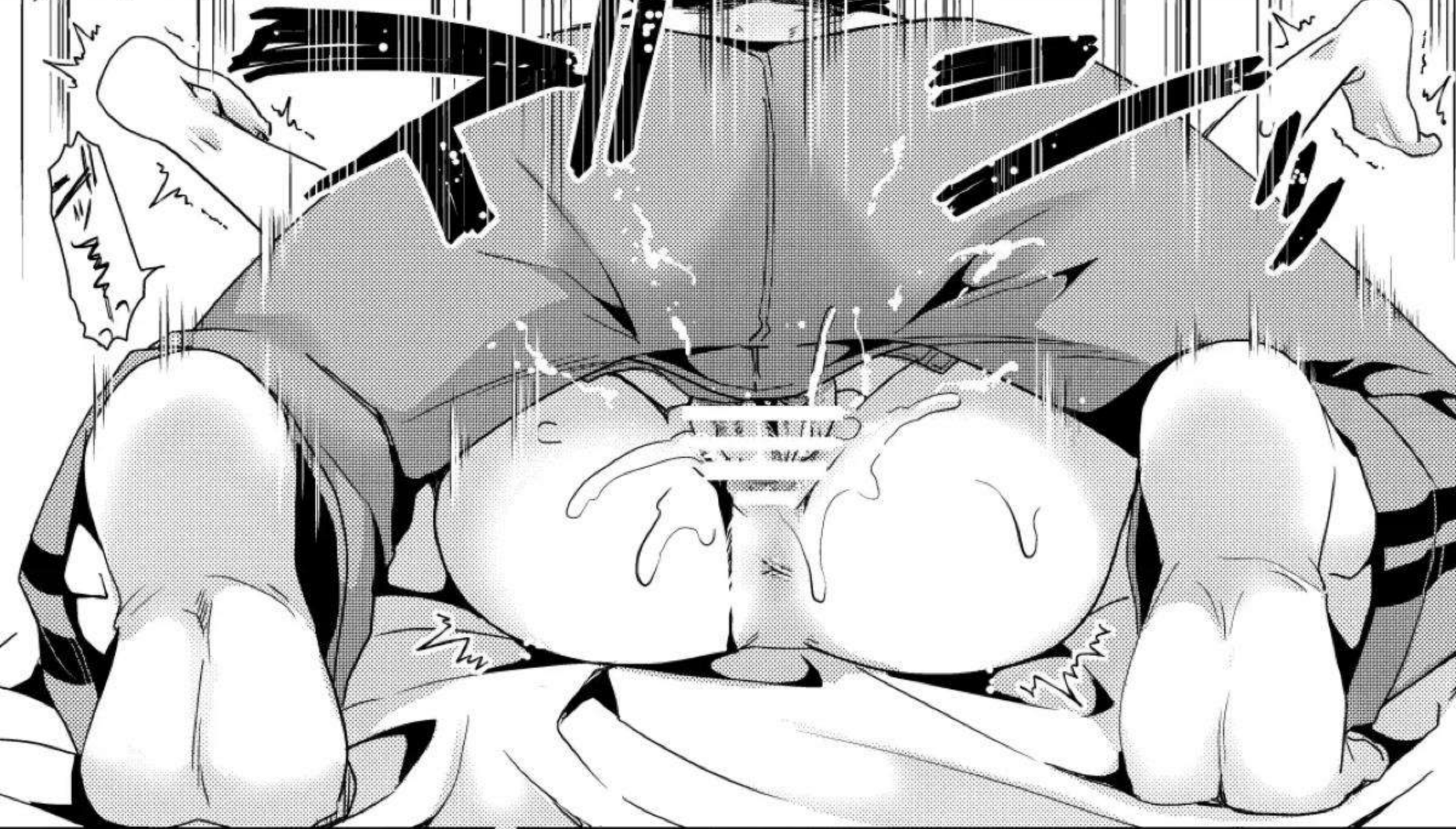
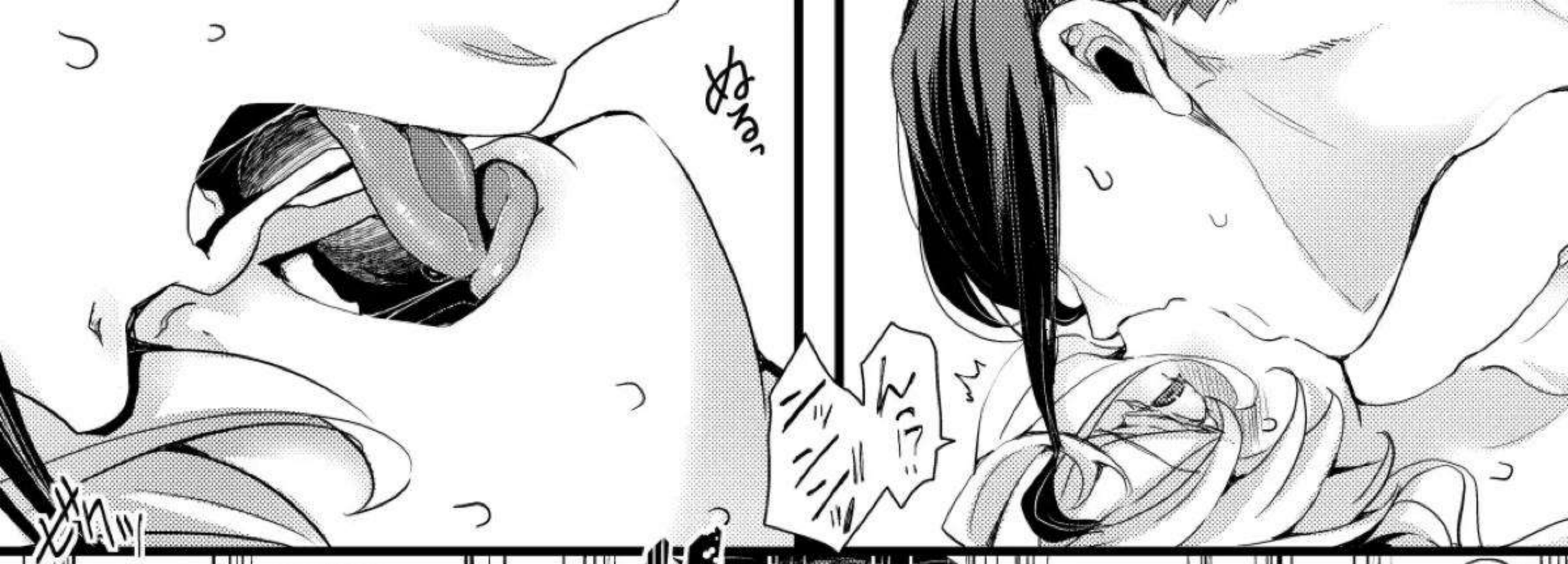
…っお気遣い…なくっ

少佐、声を出しても
いいぞ？

声なんか出せる
わけがないっ…









あとちよつと我慢すれば...

とりあえず入りはしたんだ



あの...大佐殿?

少し、このままで慣らそう



いえ、結構で...ンツ...

ひゅあぁぁぁ





あつ... 大佐
: 殿...
動いて...
ください...

...しかし...



お願い……しますっ……
……ナカが……あつ
熱くて……っ……

……っ……

あ……あつ
あ……あつ

あつ……奥っ……

あつあつ

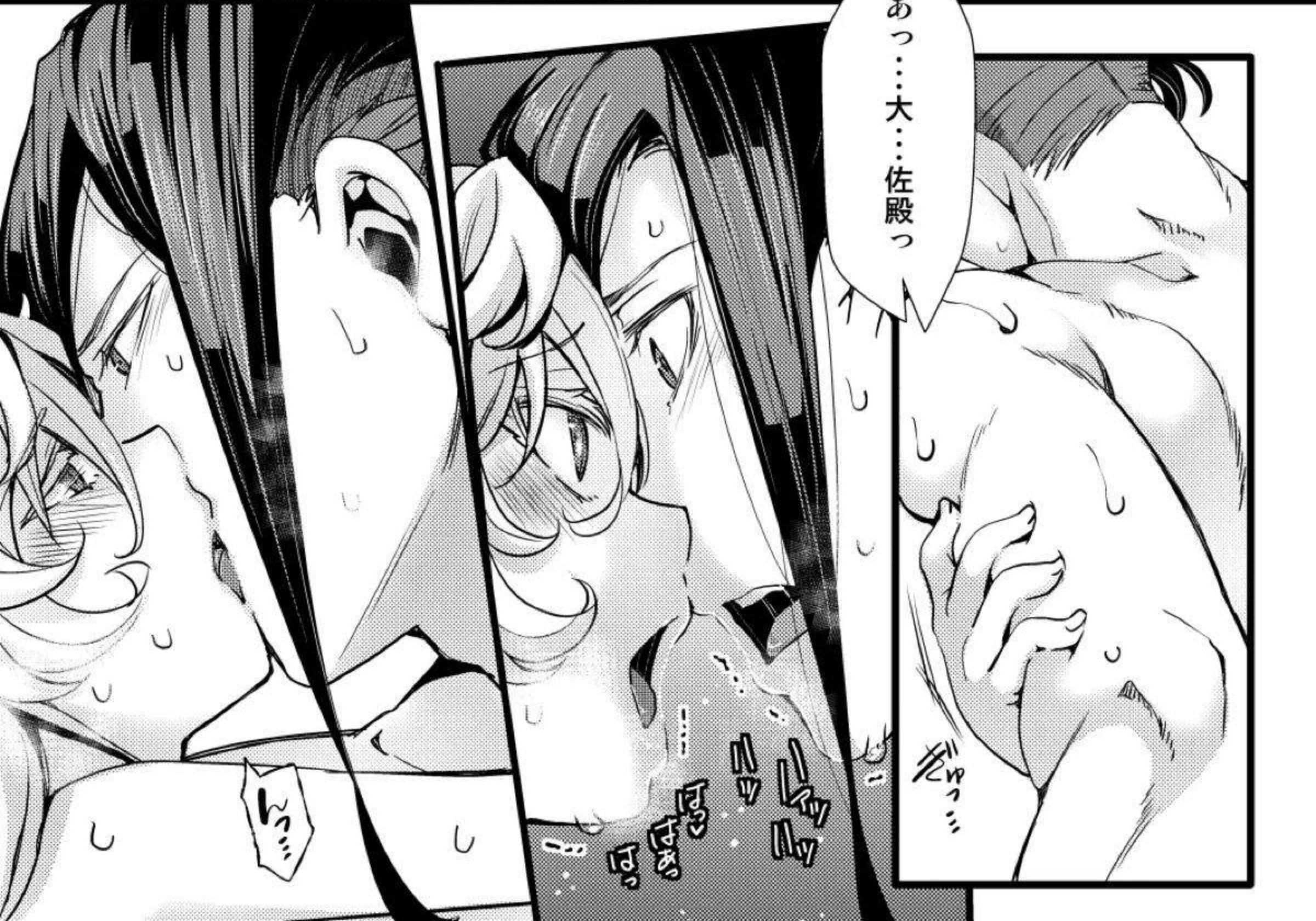
あつあつ
あつあつ

あつあつ

あつあつ

あつあつ

あつあつ





ターニヤツ...

ターニヤツ...

ターニヤツ...

ターニヤツ...

ターニヤツ...

ターニヤツ...

ターニヤツ...

ターニヤツ...



ではこれで失礼いたします



…あの…大佐殿
申し訳ございません
でした

何故貴官が謝るんだう
謝るのは私の方だろう



いえ、小官は特に
気にしておりませんので



……



あ…ああ



…あんな顔も
出来るんだな…



あれは仕方なくだ
部屋から出るには
あれしかなかった

事故だ事故



ターニヤツ



…何なんだこの動悸は！
クソ！存在Xめっ！

END